



—北アフリカ地域ニュース—

リビア：韓国との関係

(3日付聯合ニュース)

10月3日付聯合ニュースなどは、9月30日に行われた李相得議員（李明博大統領の実兄）とカダフィ指導者の会談、および両国関係の正常化について報じている。

1. 李相得議員とカダフィ指導者の会談

- (1) 9月30日、リビアを訪問中の李相得議員は、シルテにおいてカダフィ指導者と会談し、両国関係を正常化させ、国交樹立30周年を迎える両国の友好関係を拡大発展させることで合意した。その際、カダフィ指導者は、在韓国リビア経済協力事務所職員の復帰と、宗教法違反容疑で逮捕された韓国人2名の釈放について協力することを約束し、「リビアは大水路工事などで韓国企業と事業を推進してきた。韓国企業に対する信頼に基づき、今後も韓国企業がリビアで不便を感じることなく事業を展開できるよう支援する」と述べた。
- (2) カダフィ指導者との会談後、李議員はマフムデー首相とも会談を行った。
- (3) 李議員は、9月27日に韓国を出発し、同29日の「大宇トリポリ・ホテル」の竣工式に出席してリビア高官と会談した後、カダフィ指導者と会談する予定であった。しかし、竣工式が10月末に延期となったことから、カダフィ指導者の出身地であり行政都市であるシルテを訪問していた。

2. 韓国人2名の釈放

- (1) 韓国外務省によると、10月2日午後8時（現地時間）、リビア当局に逮捕されていた韓国人2名が釈放された。2名は駐リビア韓国大使の立会いの下、家族と面会した。
- (2) この2名は韓国人宣教師と実業家である。宣教師は、2010年6月、リビアにキリスト教関連の本を持ち込んだとして逮捕された。実業家は、2010年7月、韓国人宣教師の宗教活動に資金援助したとして逮捕された。